

# 保健管理概要

第34号 2018年



秋田大学保健管理センター



# 目 次

I	平成30年度 保健管理体制	
1.	組織図	1
2.	沿 革	1
3.	職 員	2
4.	学校医	2
5.	学外カウンセラー	2
6.	歴代職員	2
II	平成30年度 年間業務内容	3
III	平成30年度 保健管理業務概要	
1.	学生保健管理実施状況	
(1)	学生定期健康診断受診項目	6
(2)	学生定期健康診断受診状況	7
(3)	各検査項目別受診状況及び結果	9
(4)	留学生 学生定期健康診断受診状況	10
(5)	生活問診票結果	11
(6)	学部新入生における麻疹ワクチン接種状況	18
2.	職員保健管理実施状況	
(1)	職員健診の対象者及び検査項目	19
(2)	職員一般定期健康診断受診状況	20
(3)	職員定期健康診断事後保健指導の実施状況	21
(4)	特殊健康診断	21
3.	保健管理センター利用状況	
(1)	学部別・月別利用者数	22
(2)	疾病別利用者数	23
(3)	健康相談件数	24
(4)	学生相談 相談者内訳	24
(5)	学生相談 来談方法	24
(6)	学生相談 相談内容内訳	25
(7)	健康診断証明書 発行内訳	25

(8) 心電図検査 実施状況及び結果 .....	2 6
(9) 紹介状発行内訳 .....	2 6

#### IV 安全衛生活動報告

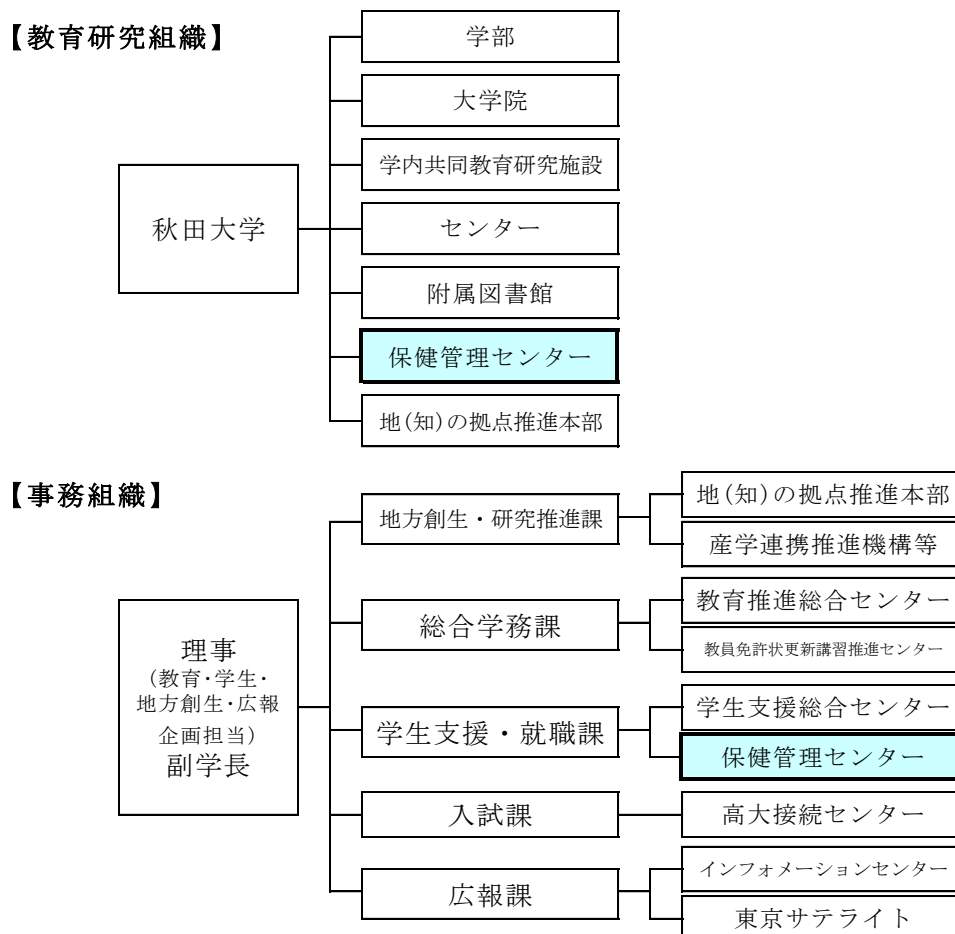
1. キャンパス内定期巡視及び安全衛生委員会への出席.....	2 7
2. 職員定期健康診断事後措置（保健指導） .....	2 7
3. 長時間労働者面接 .....	2 7
4. 高ストレス者面接 .....	2 7
5. 病休者の復帰前面談 .....	2 7

#### V 教育・研究活動報告

1. 学生講義	
(1) 教養教育科目 .....	2 8
(2) 医学部講義 .....	2 9
2. 禁煙支援システム（禁煙外来） .....	2 9
3. 自己監視型肥満対策 .....	2 9
4. 講演会等実施状況 .....	3 0
5. 研究報告 .....	3 2

# I 平成30年度 保健管理体制

## 1. 組織図



## 2. 沿革

昭和 49 年 4 月 1 日	保健管理センター設置準備委員会発足
昭和 49 年 4 月 11 日	国立学校設置法施行規則の一部改正により保健管理センター設置、 学長 渡辺武男が所長事務取扱に発令された
昭和 49 年 5 月 8 日	保健管理センター規程及び保健管理委員会規程が制定された
昭和 49 年 8 月 1 日	初代保健管理センター所長に医学部教授 増田久之(第一内科)が併任 された
昭和 54 年 3 月 30 日	新保健管理センターが竣工した(計算センター(現 情報統括センター) と合築)
平成 元年 1 月 26 日	現在地への移転工事が竣工した
平成 16 年 4 月 1 日	法人化に伴い、秋田大学保健管理センター規程が制定された
平成 23 年 9 月 12 日	保健管理センター増築工事が竣工した

### 3. 職員(平成30年度)

所長(併) 教授 伏見雅人  
 准教授 小林政雄  
 看護師 藤原友紀子  
 看護師 安保智秋  
 看護師 赤上由加 (非常勤)

### 4. 学校医

産科婦人科講師 熊澤由紀代  
 精神科助教 高橋裕哉  
 精神科助教 筒井幸  
 皮膚科助教 加藤真紀  
 眼科助教 渡辺駿  
 耳鼻咽喉科助教 小泉洸

### 5. 学外カウンセラー

(学生相談所専門相談員)

後藤優子 (非常勤) 佐藤真紀 (非常勤)  
 成田美也子 (非常勤)

### 6. 歴代職員

#### ①所長(併)

氏名	所属	在任期間	備考
渡邊武男	学長	昭49. 4. 11～昭49. 7. 31	事務取扱
増田久之	医学部	昭49. 8. 1～昭52. 3. 15	
金澤知博	医学部	昭52. 3. 16～昭56. 3. 15	
井上修一	保健管理センター	昭56. 3. 16～平10. 3. 31	
苗村育郎	保健管理センター	平10. 4. 1～平28. 3. 31	
伏見雅人	保健管理センター	平28. 4. 1～	

#### ②保健管理医

氏名	診療科	職名	在任期間	備考
荒川弘道	内科	講師	昭49. 8. 1～昭53. 9. 30	
井上修一	内科	教授	昭53. 10. 1～平10. 3. 31	
久場政博	精神科	講師	昭53. 10. 1～昭57. 3. 31	
稲村茂	精神科	助手	昭57. 4. 1～昭59. 3. 31	
大川匡子	精神科	助手 講師	昭59. 4. 1～昭60. 4. 30 昭60. 5. 1～平 2. 12. 31	
苗村育郎	精神科	助手 講師 助教授 教授	平 3. 1. 1～平 3. 2. 15 平 3. 2. 16～平 4. 3. 31 平 4. 4. 1～平10. 3. 31 平10. 4. 1～平28. 3. 31	
小林政雄	内科	准教授	平10. 4. 1～	
伏見雅人	精神科	教授	平28. 4. 1～	

## II 平成30年度 年間業務内容

月	業 務	内 容
4月	入学式(秋田県民会館) 「大学生と健康A」授業開始 学生定期健康診断 新入学生(編入生も含む) 卒業年次生 医学部 2～5年次生 大学院生 健康診断事後措置 健康診断証明書発行準備 留学生オリエンテーション 長時間労働者面接指導	救護班(看護師1名) 教養教育科目 青年が直面している心とからだの健康状況を認識し、 将来の生活の支えとなることを目的として行う 胸部X線撮影(センター内X線装置にてCR撮影) 内科診察、問診票 血圧測定 眼科診察、視力測定、耳鼻科診察、聴力測定 身体測定(身長、体重) 検尿(早朝尿) 再検者呼び出し(診察、再検査、心電図、医療機関へ紹介) データ整理及び入力 施設見学 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
5月	学生定期健康診断 学部 2、3年次生 非正規生 健康診断事後措置 健康診断証明書発行準備 X線室漏洩線量測定 長時間労働者面接指導	胸部X線撮影(センター内X線装置にてCR撮影) 内科診察 血圧測定(自動) 身体測定(身長、体重) 検尿(早朝尿) 再検者呼び出し(診察、再検査、医療機関へ紹介) 健康診断未受診者一覧作成 データ整理及び入力 外部機関に依頼(千代田テクノル) 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
6月	職員一般定期健康診断 放射線業務従事者特別健康診断(1回目) 有機溶剤、特定化学物質 取扱者健康診断(1回目) 粉じん作業従事者健康診断 学校給食従事者特別定期検査 長時間労働者面接指導	胸部X線撮影(センター内X線装置にてCR撮影) 内科診察、血圧測定、視力検査、聴力検査 身体測定(身長、体重)、腹囲測定 尿検査(早朝尿) 肝機能、脂質、血糖、貧血検査、HbA1c、クレアチニン、尿酸 胃部検診(X線・ペプシノゲン) 大腸検査(便潜血) 心電図検査 問診票、末梢血検査、眼科、皮膚科 診察、肝機能検査、検尿等 問診票、胸部X線検査(直接撮影) 腸内細菌検査・寄生虫卵 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接

月	業 務	内 容
7月	学生、職員健康診断結果総括 第56回全国大学保健管理研究集会東北地方 研究集会(当番校:宮城教育大学) オープンキャンパス 長時間労働者面接指導	受診率、有所見率等の集計 医師2名、看護師2名参加 医務室(看護師1名) 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
8月	職員健康診断事後措置 長時間労働者面接指導	個別保健指導、医療機関へ紹介 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
9月	職員健康診断事後措置 職員胃部検診(手形キャンパス) 長時間労働者面接指導 AO入試 I (理工学部)	個別保健指導、医療機関へ紹介 保健事業団へ依頼 (会場:保健管理センター) 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接 医務室(看護師1名)
10月	「大学生と健康B」授業開始 留学生健康診断 秋季新入の外国人留学生 定期健康診断未受検の外国人留学生 毒物及び劇物危険物点検 秋田大学総合防災訓練 職員健康診断事後措置 新生児BMI高値者 事後措置 AO入試(国際資源学部) AO入試 II (理工学部) 長時間労働者面接指導 秋田大学大学祭(2日間)	前期に同じ 胸部X線撮影(センター内X線装置にてCR撮影) 身体測定(身長、体重)、内科診察、血圧測定、検尿 施設内をチェック票に基づいて点検、報告 救護室 個別保健指導、医療機関へ紹介 身体計測 保健指導 医務室(看護師1名) 医務室(看護師1名) 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接 医務室(看護師1名)
11月	職員健康診断事後措置 X線室漏洩線量測定 第56回全国大学保健管理研究集会 (当番校:東京大学) 推薦入試 I (教育文化学部) 高ストレス者面接指導 長時間労働者面接指導	個別保健指導、医療機関へ紹介 外部機関に依頼(千代田テクノル) 医師1名、看護師2名参加 医務室(看護師1名) 医師による面接 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接



月	業 務	内 容
12月	放射線業務従事者特別健康診断(2回目) 有機溶剤、特定化学物質 取扱者健康診断(2回目) 第40回全国大学メンタルヘルス学会 (当番校:岡山大学) 秋田大学ISO14001取得審査 長時間労働者面接指導	保健事業団へ依頼(問診票、末梢血検査、眼科、皮膚科) 保健事業団へ依頼 (診察、肝機能検査、検尿等) 医師1名参加 手形・保戸野キャンパス 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
1月	センター試験 推薦入試Ⅱ試験 長時間労働者面接指導	医務室(医師2名・看護師2名) 医務室 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
2月	個別学力検査 前期日程 長時間労働者面接指導	医務室 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
3月	個別学力検査 後期日程 第21回全国大学フィジカルフォーラム (当番校:山形大学) 卒業式(CNAアリーナ) 長時間労働者面接指導	医務室 医師2名参加 救護班(看護師1名) 疲労蓄積度チェックリスト、医師による面接
毎月	学校医による相談日 衛生管理者学内巡視活動	耳鼻咽喉科、眼科 医師(産業医)・看護師
会議	学生支援企画会議 学生特別支援室会議 学生サポートルーム担当者会議	センター所長参加 センター所長参加 看護師1名出席
委員会	手形キャンパス安全衛生委員会 保戸野キャンパス安全衛生委員会 秋田大学(手形・保戸野地区)環境管理委員会	医師(産業医)2名、看護師(衛生管理者)1名出席 医師(産業医)2名出席 看護師1名出席

### Ⅲ 平成30年度 保健管理業務概要

#### 1. 学生保健管理実施状況

##### (1) 学生定期健康診断受診項目

		新入生	新編入生	卒年次生	左記以外の学生	摘要
計測・検査	身長・体重	○	○	○	○	BMIを算出
	胸部X線撮影	○	○	○	※1	デジタル撮影
	検尿	○	○	○	○	尿糖・蛋白・潜血
	血圧	○	○	○	○	自動血圧計
	視力	○	○	○		自動視力計・簡易式視力計
	聴力	○	○	△		オージオメーター
診察	内科	○	○	○	○	既往歴の問診を含む
	耳鼻科	○	○	△		問診後、症状のある者・希望者のみ診察
	眼科	○	○	○		

○ 全員対象の項目

△ 新入生の健診時に所見のあった学生が対象

※1 結核予防法の一部改正に伴い、平成17年度より胸部X線撮影の対象者を次の通りとした

A. 新入生

1. 学部学生 1年生(新入生)
2. 研究科 1年生(新入生)
3. 各学部 新編入生

B. 実習のある学生

4. 教育実習への参加が予定されている学生
5. 介護等体験への参加が予定されている学生
6. 病院実習への参加が予定されている学生
7. インターンシップへの参加が予定されている学生
8. その他、医療関係施設等に実習予定の学生
9. 前年度上記5～8の実習に参加した学生

C. 就職活動をする学生

D. 経過観察の学生

10. 前年度の健診で、要経過観察と判定された学生

(2) 学生定期健康診断受診状況

【学 部】

学 部		学 年	対象者数	受診者数	未受診者数	受診率	
国際資源学部		1 年 次	139	129	10	92.8%	
		2 年 次	121	100	21	82.6%	
		3 年 次	125	117	8	93.6%	
		4 年 次	110	99	11	90.0%	
		計	495	445	50	89.9%	
教育文化学部		1 年 次	215	212	3	98.6%	
		2 年 次	216	207	9	95.8%	
		3 年 次	243	231	12	95.1%	
		4 年 次	231	216	15	93.5%	
		計	905	866	39	95.7%	
医学部	医学科	1 年 次	125	123	2	98.4%	
		2 年 次	137	85	52	62.0%	
		3 年 次	127	37	90	29.1%	
		4 年 次	132	123	9	93.2%	
		5 年 次	119	118	1	99%	
		6 年 次	123	121	2	98.4%	
		計	763	607	156	79.6%	
		保健学科	1 年 次	111	111	0	100%
	2 年 次		124	123	1	99.2%	
	3 年 次		115	115	0	100%	
	4 年 次		111	110	1	99.1%	
	計	461	459	2	99.6%		
理工学部		1 年 次	474	451	23	95.1%	
		2 年 次	425	384	41	90.4%	
		3 年 次	447	393	54	87.9%	
		4 年 次	394	373	21	94.7%	
		計	1,740	1,601	139	92.0%	
工学資源学部		3 年 次	3	1	2	33.3%	
		4 年 次	17	14	3	82.4%	
		計	20	15	5	75.0%	
学部合計			4,384	3,993	391	91.1%	

## 【大学院】

研究科	学 年	対象者数	受診者数	未受診者数	受診率
国際資源学研究科 博士前期課程	1 年 次	57	57	0	100%
	2 年 次	36	34	2	94%
	計	93	91	2	98%
国際資源学研究科 博士後期課程	1 年 次	10	10	0	100%
	2 年 次	8	7	1	88%
	3 年 次	5	5	0	100%
	計	23	22	1	96%
教育学研究科 専門職学位課程	1 年 次	22	10	12	45%
	2 年 次	17	9	8	53%
	計	39	19	20	49%
教育学研究科修士課程	1 年 次	4	4	0	100%
	2 年 次	5	4	1	80.0%
	計	9	8	1	88.9%
医学系研究科修士課程	1 年 次	2	0	2	0%
	2 年 次	1	1	0	100%
	計	3	1	2	33%
医学系研究科博士前期課程	1 年 次	9	5	4	55.6%
	2 年 次	19	1	18	5.3%
	計	28	6	22	21.4%
医学系研究科博士課程	1 年 次	24	2	22	8.3%
	2 年 次	27	0	27	0.0%
	3 年 次	26	0	26	0.0%
	4 年 次	70	0	70	0.0%
	計	147	2	145	1.4%
医学系研究科博士後期課程	1 年 次	4	0	4	0.0%
	2 年 次	3	0	3	0.0%
	3 年 次	5	0	5	0.0%
	計	12	0	12	0.0%
工学資源学研究科 博士前期課程	2 年 次	2	2	0	100.0%
	計	2	2	0	100.0%
工学資源学研究科 博士後期課程	3 年 次	17	9	8	52.9%
	計	17	9	8	52.9%
理工学研究科 博士前期課程	1 年 次	150	144	6	96.0%
	2 年 次	143	131	12	91.6%
	計	293	275	18	93.9%
理工学研究科 博士後期課程	1 年 次	7	1	6	14.3%
	2 年 次	12	8	4	66.7%
	3 年 次	7	2	5	28.6%
	計	26	11	15	42.3%
大学院合計		692	446	246	64.5%
全学生総計		5,076	4,439	637	87.5%

\* 対象者数は平成30年5月1日現在の在籍学生数

外国人非正規生		24	20	4	83.3%
---------	--	----	----	---	-------

\* 非正規生対象者は平成30年4月入学者とする

### (3) 各検査項目別受診状況及び結果

#### ①X線検査結果

	対象者数	受検者数	受検率(%)	有所見者数	有所見											結果		
					小結節陰影	自然気胸	右肺低形成	ブラ	ペッツ	上縦隔陰影異常	脊椎固定具	骨折痕	右胸心	術後所見	(骨・血管影等) その他	異常なし	経過観察	要精査
学部	4,384	3,913	89.3	45	2	2	1	8	16	1	1	1	2	8	7	16	25	2
大学院	692	443	64	2				1							1	1	1	2
合計	5,076	4,356	85.8	47	2	2	1	9	16	1	1	1	2	8	8	17	26	4

\* 要精査の4名のうち、2名は異常なし、2名は経過観察となった

#### ②血圧測定結果

	対象者数	受検者数	受検率(%)	健診時高血圧者数	再検査						家庭血圧実施者	所見		結果
					受検者数	受検率(%)	異常なし	I度高血圧	II度高血圧	III度高血圧		異常なし	白衣高血圧	
学部	4,384	3,993	91.1	75	35	46.7	34	1	0	0	1		1	1
大学院	692	446	64.5	19	11	57.9	9	2	0	0	1	1		
合計	5,076	4,439	87.5	94	46	55	43	3	0	0	2	1	1	1

#### ③尿検査結果

	対象者数	受検者数	受検率(%)	有所見者数	再検査			結果			病名・所見				
					対象者数	受検者数	受検率(%)	異常なし	経過観察	要精査	異常なし	家族性血尿	血尿	糖尿病(疑)	不明
学部	4,384	3,700	84.4	193	185	137	74.1	117	4	16	6	1	1	2	6
大学院	692	400	57.8	11	10	8	80.0	7		1	1				
合計	5,076	4,100	80.8	204	195	145	74.4	124	4	17	7	1	1	2	6

\* 有所見者 204 名中、すでに治療中の 9 名は再検査対象外とした

④内科・耳鼻科・眼科診察

\*対象者:新入生、卒年次生、新編入生

	対象者数	病名・所見														
		内科					耳鼻咽喉科					眼科				
		心雑音	不整脈	心肥大(疑)	貧血(疑)	甲状腺腫大	耳垢塞栓	アレルギー性鼻炎	鼻中隔彎曲症	慢性副鼻腔炎	扁桃腺炎	慢性扁桃腺炎	感染性結膜炎	アレルギー性結膜炎	眼瞼炎	外斜視(疑)
学部	2,080	1	3		1	1	7	21	3	1	1		1	113		1
大学院	616			1			3	6				2		44	1	
合計	2,696	1	3	1	1	1	10	27	3	1	1	2	1	157	1	1

⑤BMI値異常呼び出し

\*対象者:学部新入生でBMIが30.0以上の者

平成30年10月16日～20日実施

	対象者数			受検者数			受検率
	男	女	計	男	女	計	
国際資源学部	3		3	0		0	0%
教育文化学部	6	1	7	1	0	1	14.3%
医学部	4		4	3		3	75.0%
理工学部	9		9	1		1	11.1%
合計	22	1	23	5	0	5	21.7%

\*学校医と面談し、食事療法、運動療法など生活指導を行う

(4) 留学生 学生定期健康診断受診状況

<学生定期健康診断>

	対象者数	受診者数	未受診者数	受診率
学部	115	104	11	90.4%
大学院	67	58	9	86.6%
合計	182	162	20	89.0%

<秋季留学生健康診断>

平成30年10月23日実施

	対象者数	受診者数	未受診者数	受診率
学部	27	22	5	81.5%
大学院	24	13	11	54.2%
合計	51	35	16	68.6%

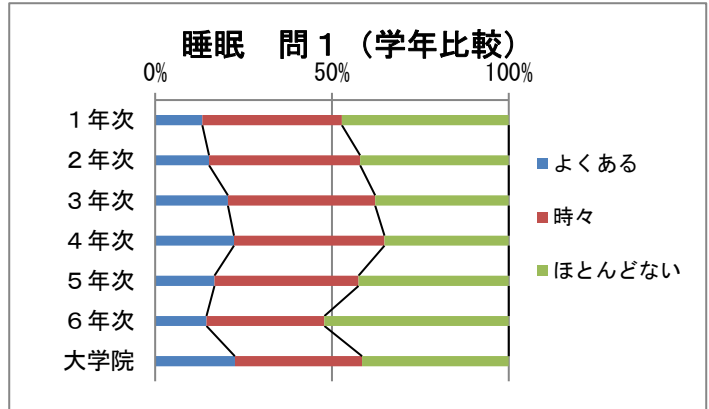
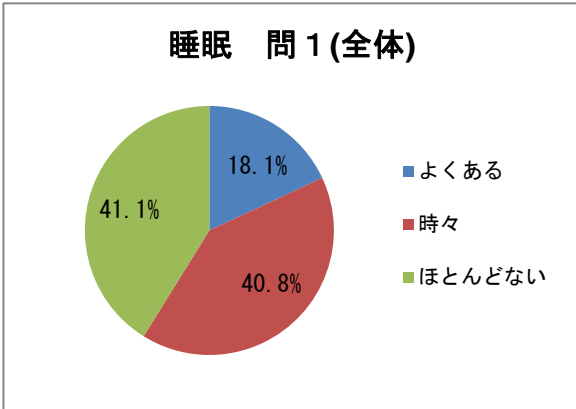
\*対象者:秋季(10月)入学の新入生と、学生定期健康診断未受診の学生

## (5) 生活問診票結果

- ・調査時期：平成30年度学生定期健康診断
- ・対象者：平成30年4月時点で在籍している学生5,076名（非正規生は除く）
- ・回収状況：4,280名（回収率84.3%）

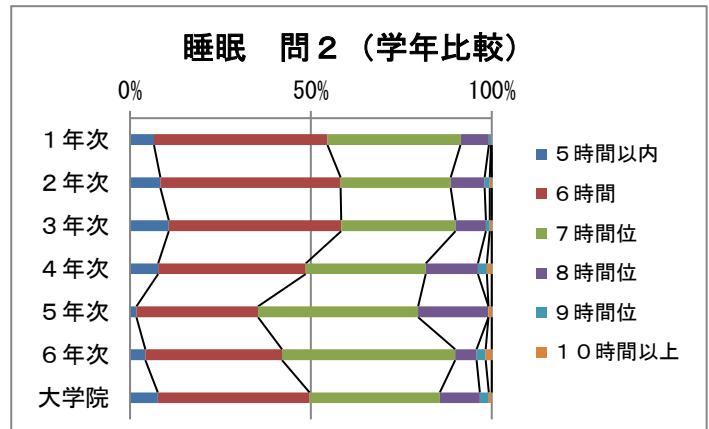
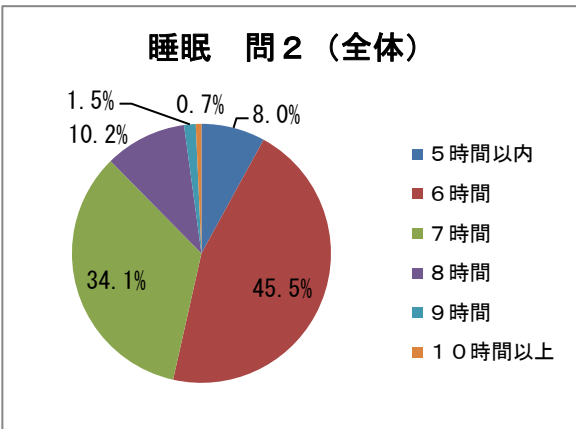
### ◆睡眠について

問1. 布団に入って眠りにつくのに時間がかかることがありますか。



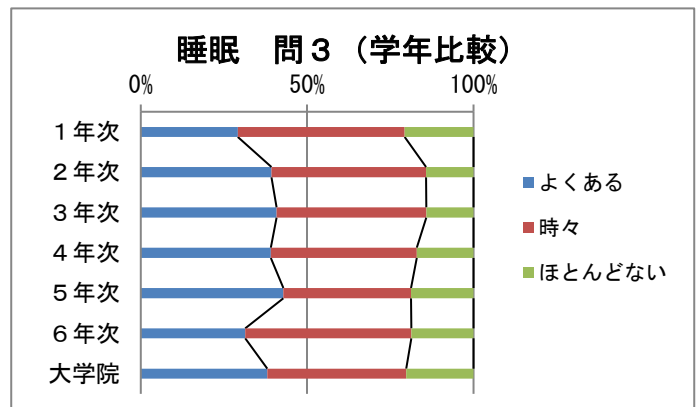
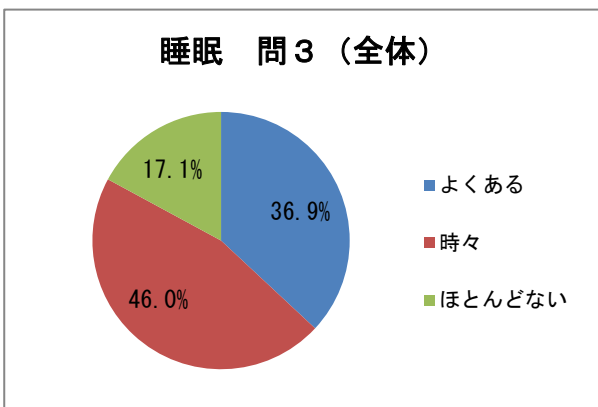
・眠りにつくのに時間がかかることが「よくある」、「時々ある」と答えた方が約60%でした。

問2. 睡眠時間は普段どれくらいですか。

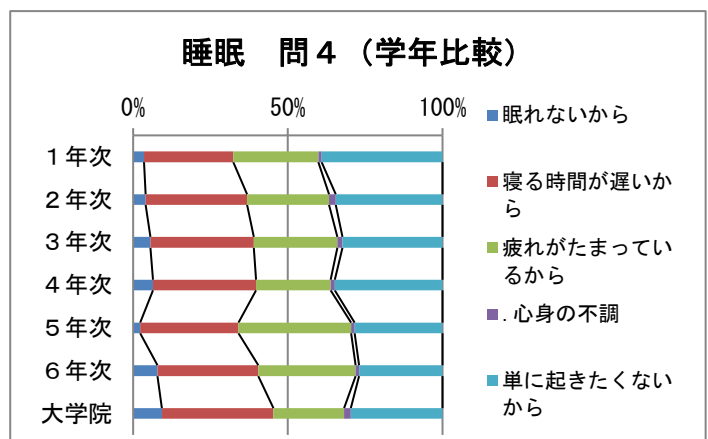
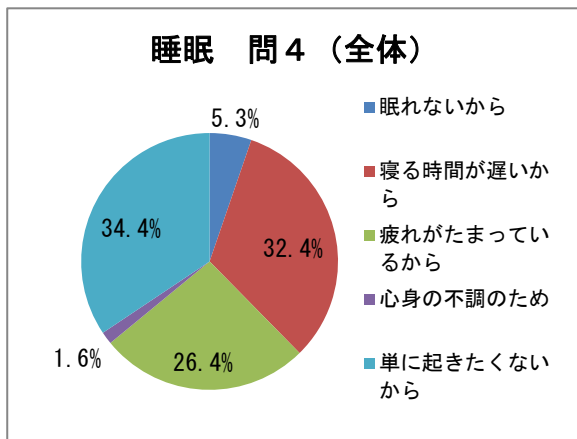


・睡眠時間は約80%の方が6~7時間と答えていました。

問3. 朝、起きるのが辛いことがありますか。

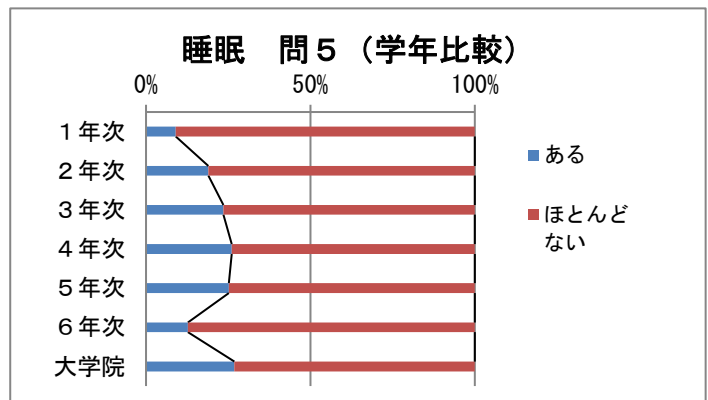
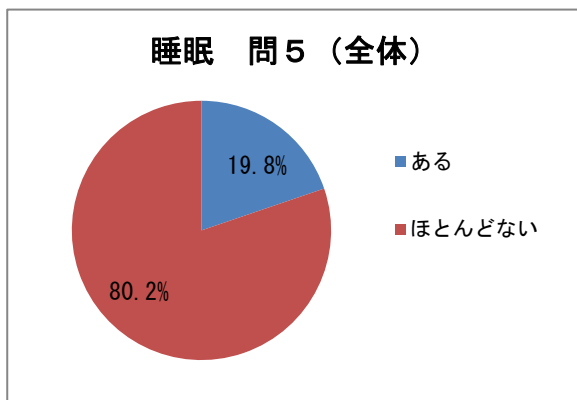


問4. 問3で『よくある、時々ある』と答えた方へお聞きします。その理由を一つ選んでください。



・朝起きるのがつらいことが『よくある、時々ある』と答えた方は約83%いました。朝起きるのがつらい理由として、『単に起きたくないから』、『寝る時間が遅いから』がそれぞれ30%おり、睡眠時間が足りない可能性も示唆されました。

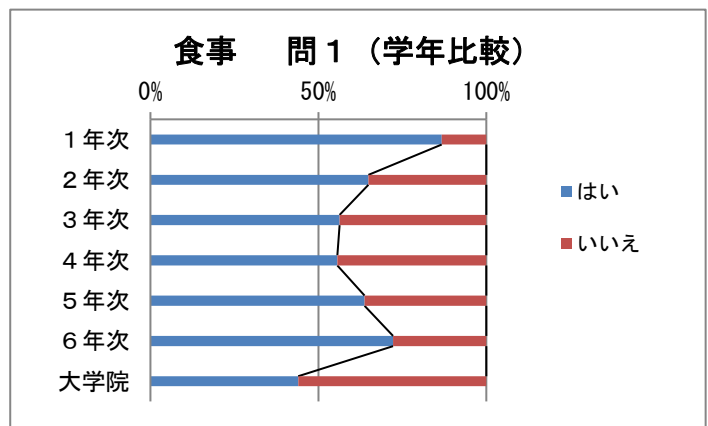
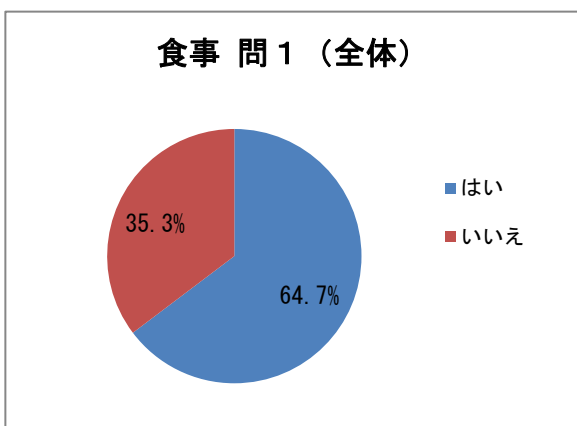
問5. 夜、眠れずに昼夜逆転することはありませんか。(勉強やアルバイト、休日は除く)



・夜眠れずに昼夜逆転することがあると答えた方は約20%いました。

#### ◆食事について

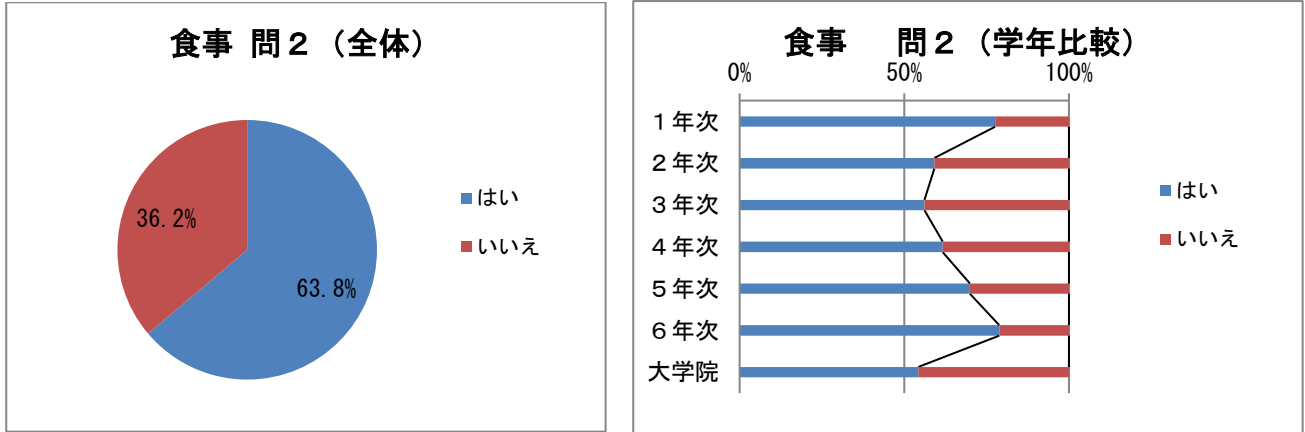
問1. 朝食はきちんと食べていますか。



・朝食をきちんと食べない人が約35%でした。

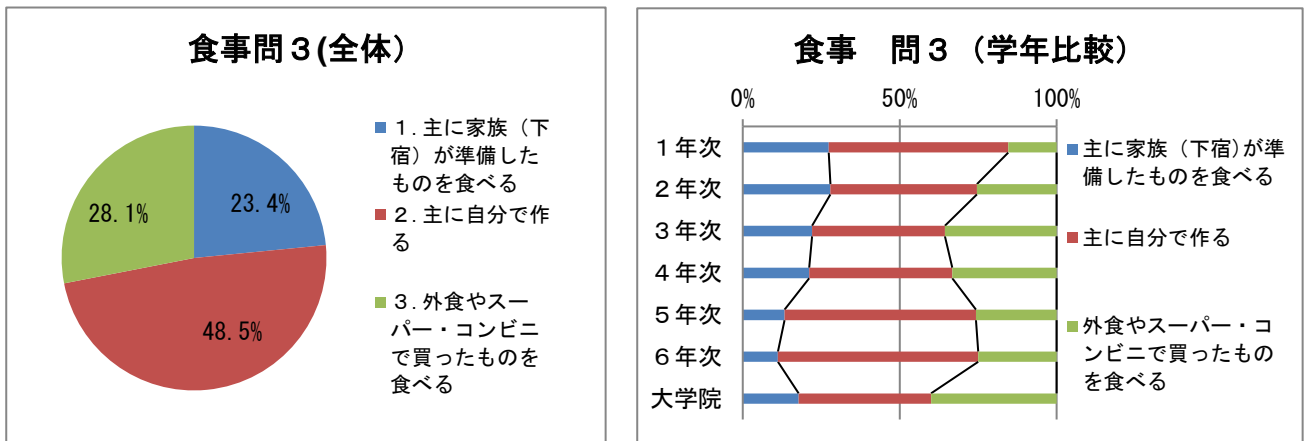


問2. 食事はバランスを考えて食べていますか。



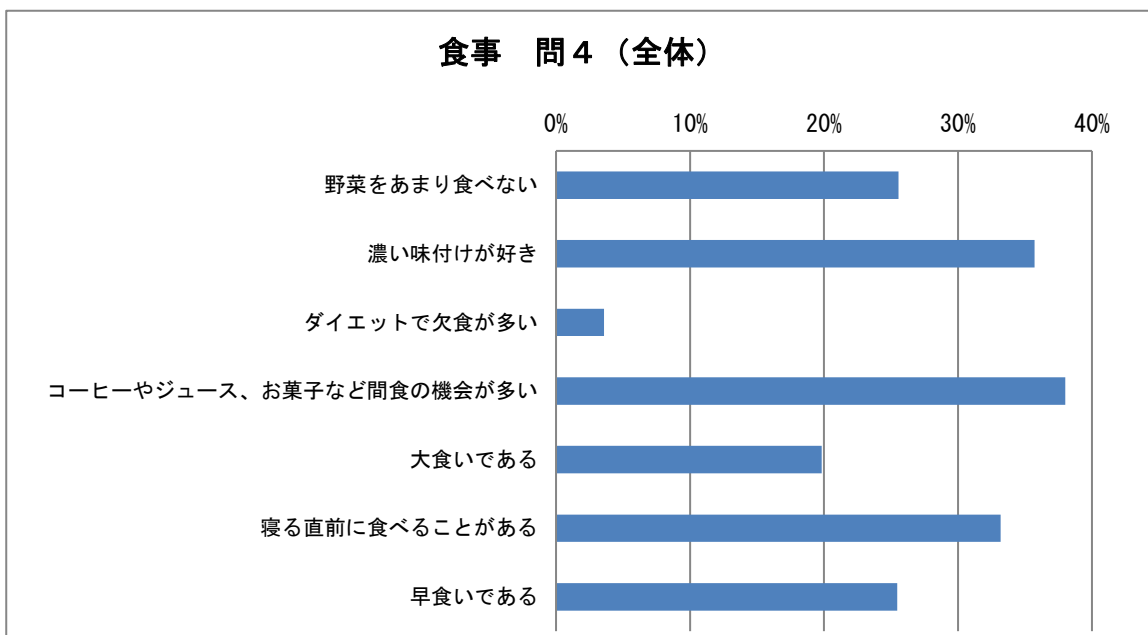
・食事のバランスを考えずに食べると答えた人は、約36%でした。

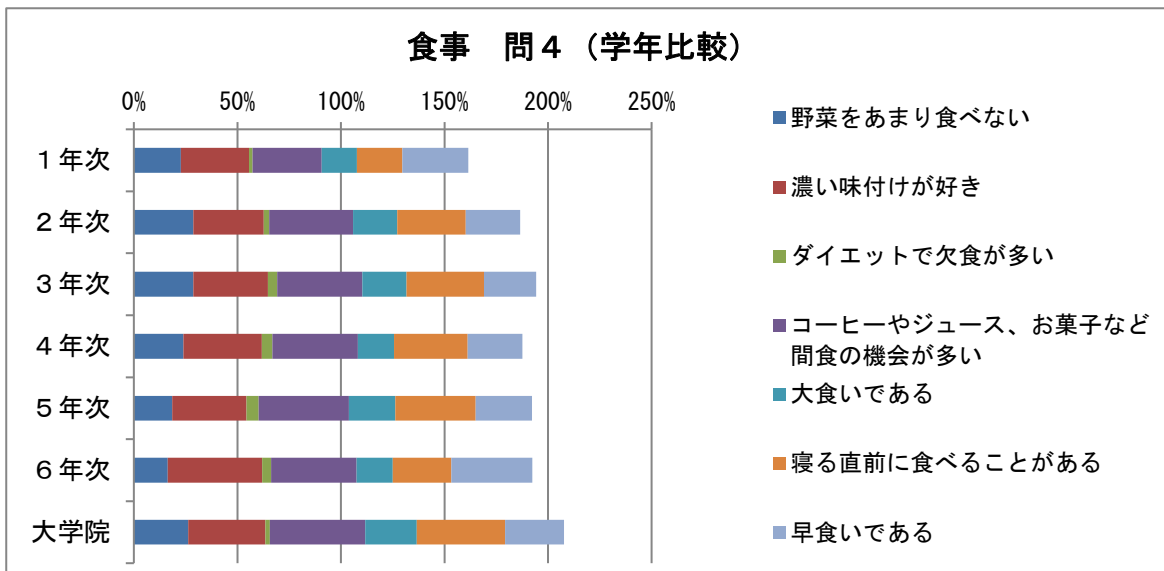
問3. あなたの食事状況について当てはまるものをすべて選んでください。



・食事状況としては、主に自分で作ると答えた方が全体の約半数でした。

問4. あなたの食習慣について当てはまるものがあれば選んでください。

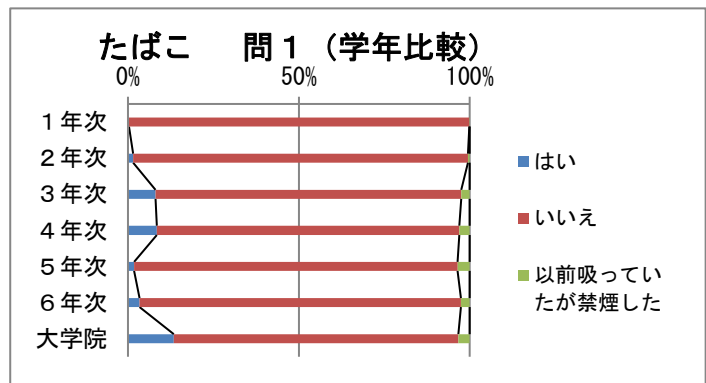
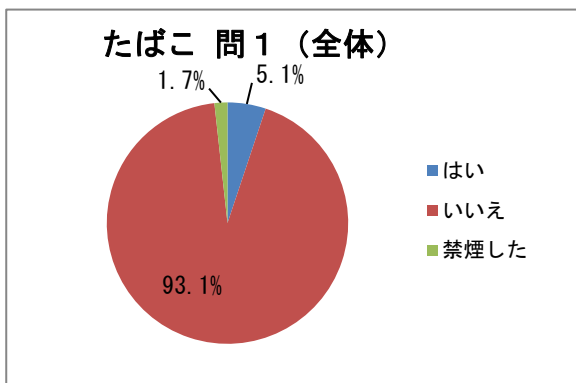




・食習慣の質問では、間食の機会が多いと答えた方が一番多く、1年次のみ33%で、他年次では40%を超えていました。濃い味付けが好きだと答えた方も二番目に多く、どの年次でも30%を超えていました。

#### ◆たばこについて

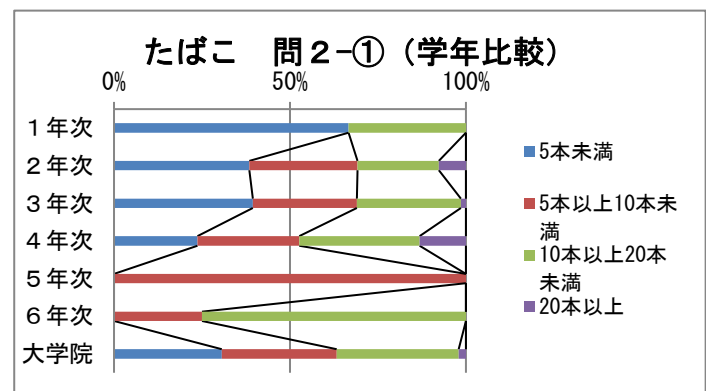
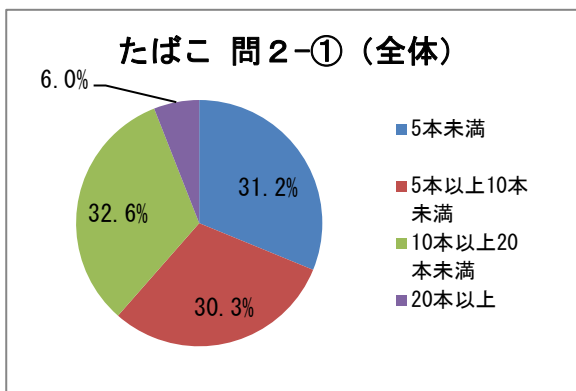
問1. あなたはたばこを吸いますか。



・たばこを吸うと答えた方は、全体の5.1% (219名) でした。

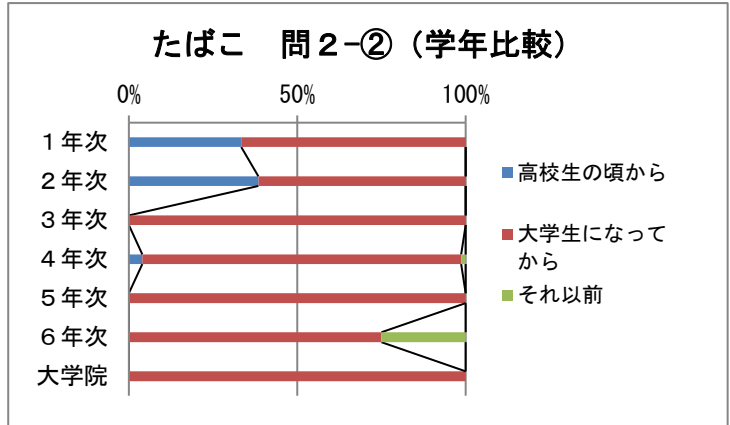
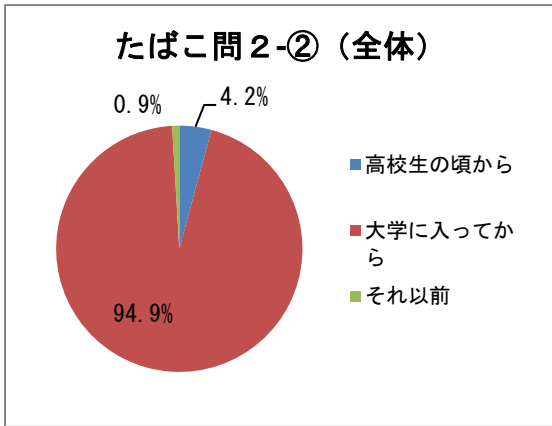
問2. 問1で「はい」と答えた方へお聞きします。

① 何本くらい吸いますか。



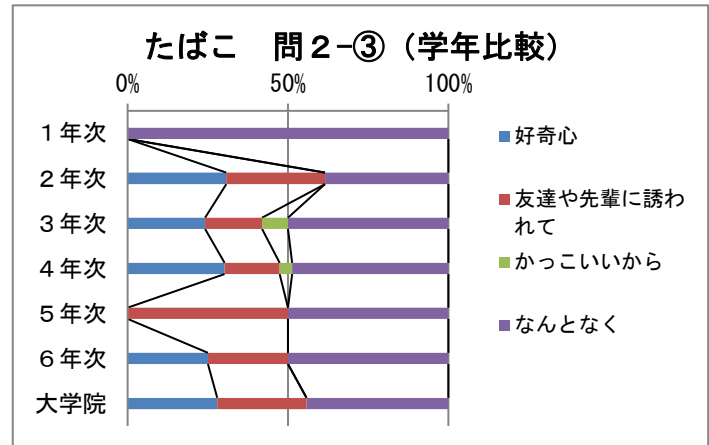
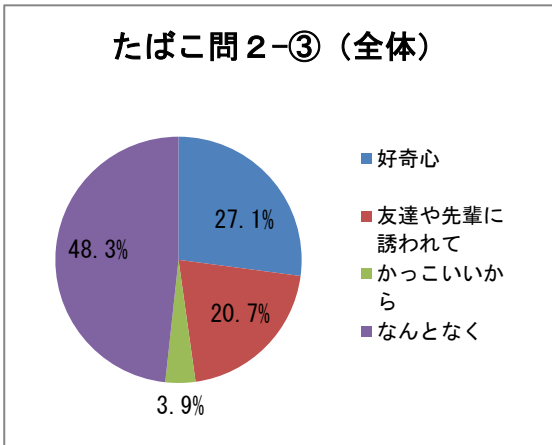
・一日の喫煙本数は、5本未満, 5本以上10本未満, 10本以上20本未満において、各30%程度で、大体同じ割合でした。

② いつから吸っていますか。



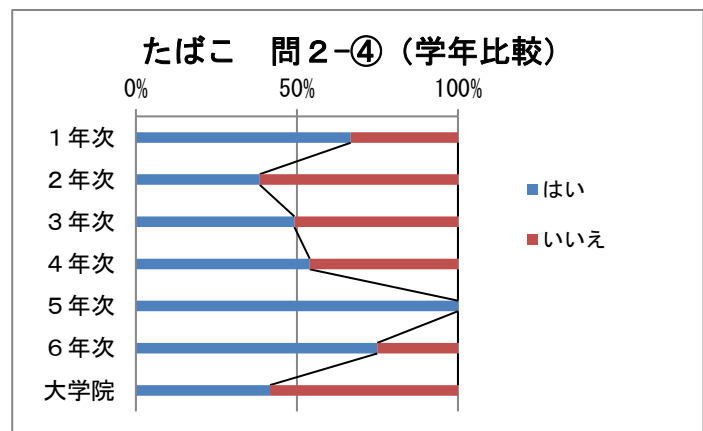
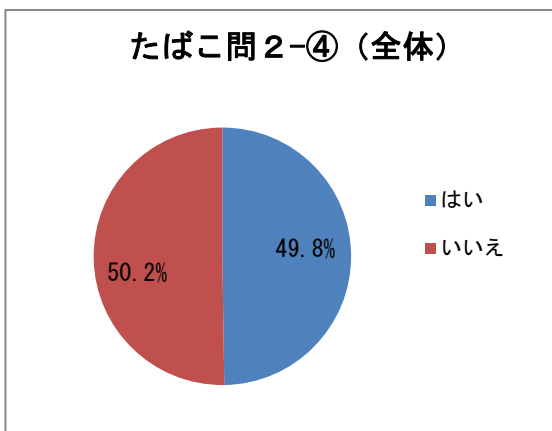
・大学生になってから吸い始めた人と答えた方がほとんどで、約95%でした。

③ 吸い始めたきっかけは何ですか。



・きっかけは、何となく吸い始めたと答えた人が全体の約半数でした。

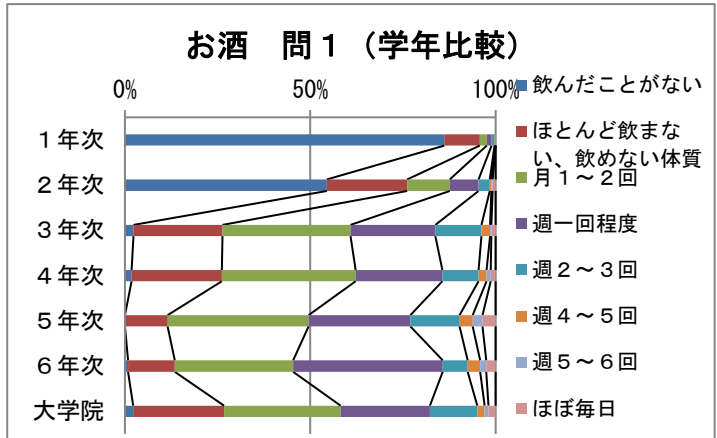
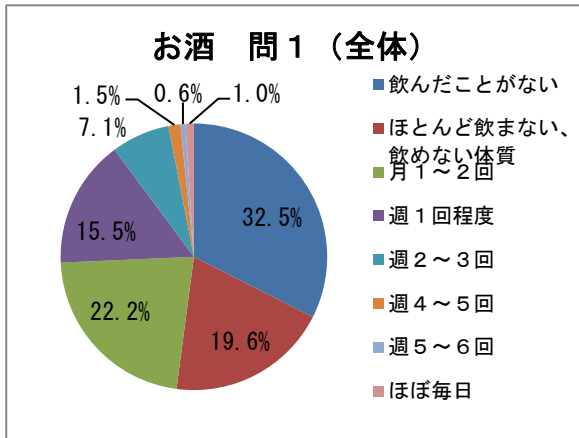
④ 機会があれば禁煙したいですか。



・禁煙したいと答えた方は、約50%でした。

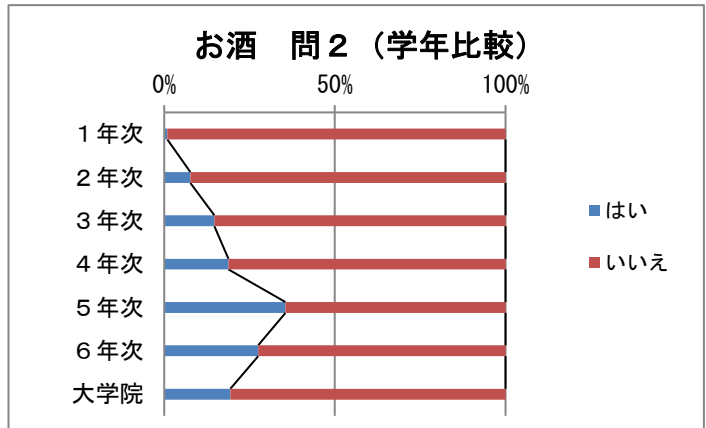
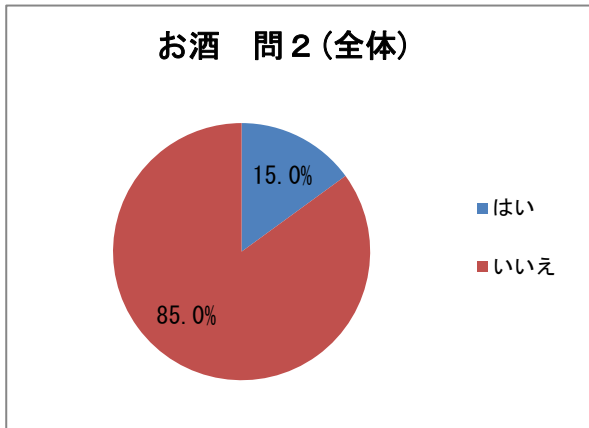
◆お酒について

問1. あなたはお酒を飲みますか。



・月1回以上お酒を飲むと答えた方が45%以上でした。

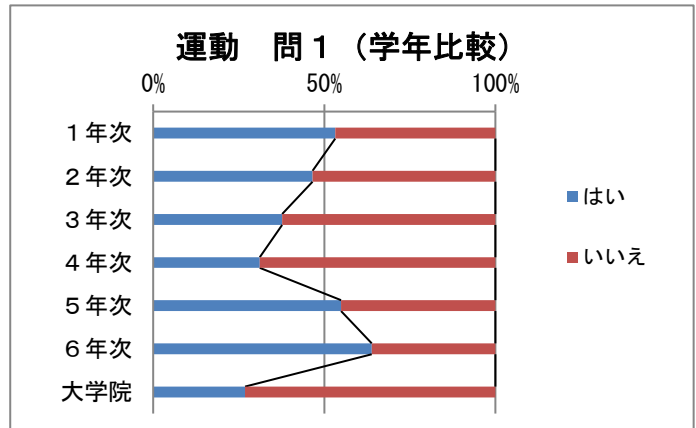
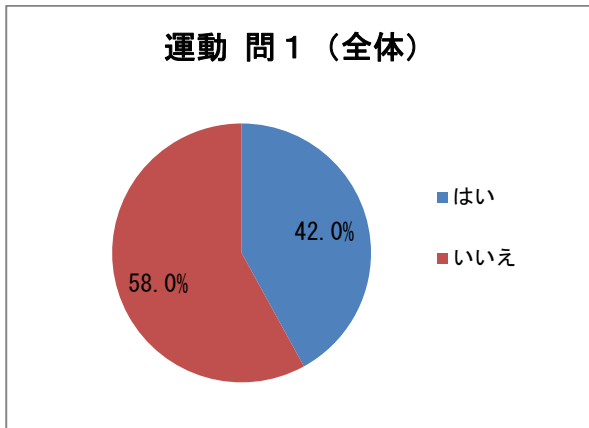
問2. 飲む方は泥酔するほど飲むことはありますか。



・泥酔するほど飲むことがあると答えた人は15%でした。学部生では年次が上がるにつれ、割合が高くなっています。

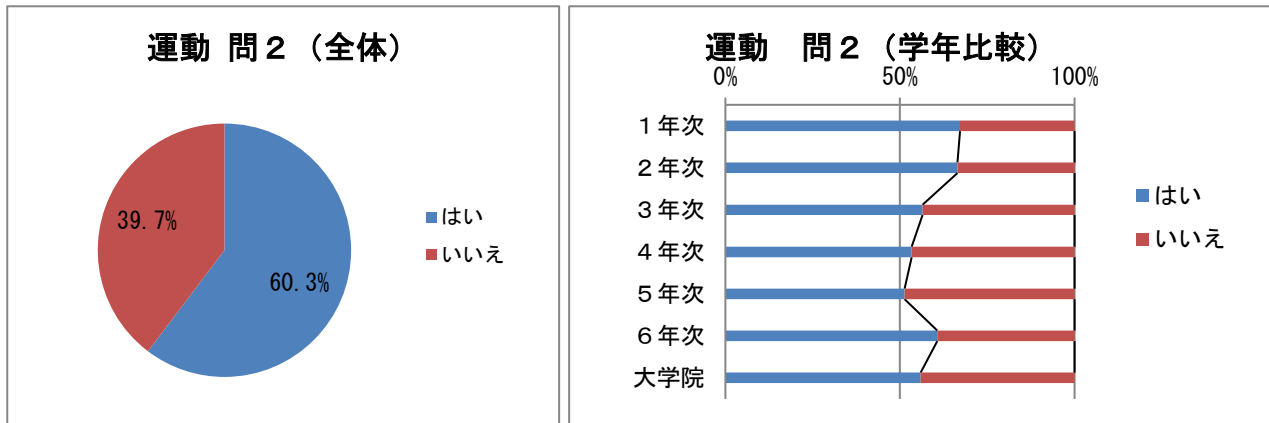
◆運動について

問1. 一回30分以上の軽く汗をかく運動を週二日以上していますか。



・週二日以上、軽い運動をしている人は42%でした。

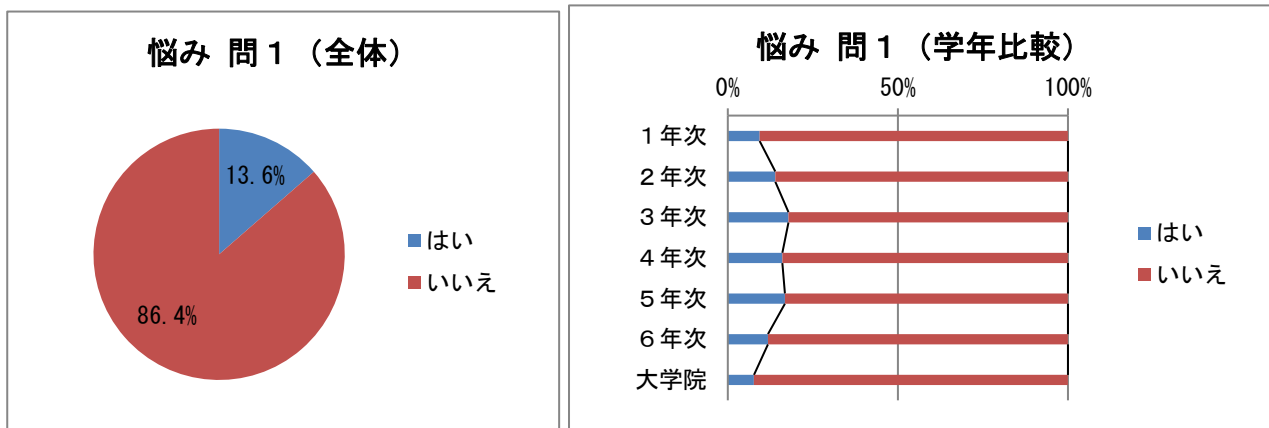
問2. 日常生活において歩行または同等の活動を一日1時間以上していますか。



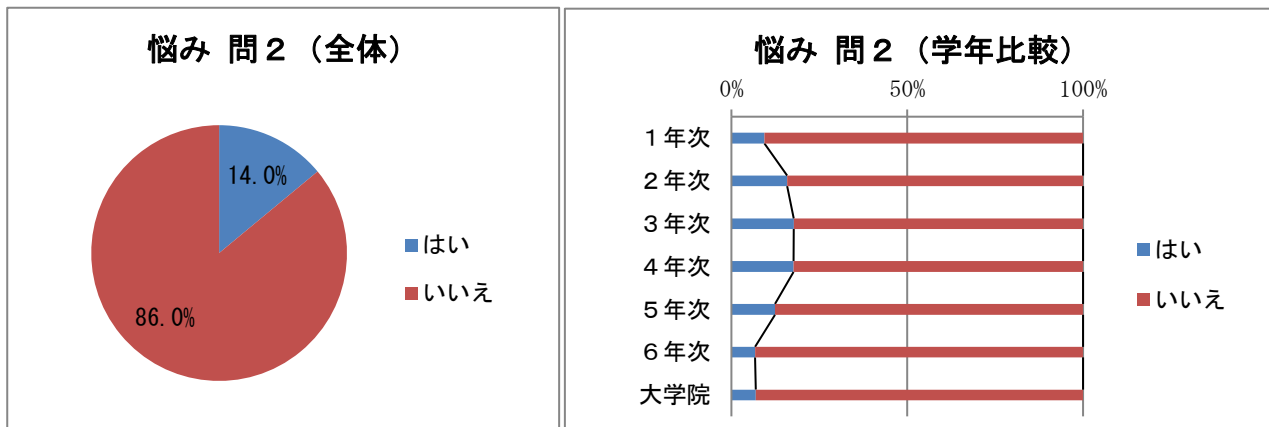
・ 日常生活で歩行または運動と同等の活動をしていると答えた方は、約60%でした。

◆悩みについて

問1. 人にはなかなかいえない悩みはありますか。



問2. 誰かに話を聞いてもらいたいと思いますか。



・ 悩みがあると答えた方と話を聞いてもらいたいと答えた方は、どちらも13~14%でした。

## (6) 学部新生における麻疹ワクチン接種状況(医学部は除外)

	2回接種/抗体陽性/1回接種(大学入学年)者数(率)	1回接種(中1/高3)者数(率)	1回接種(幼少)者数(率)	接種なし/未提出者数(率)	抗体陽性/大学入学年接種者数(率)(再掲)
2009年	681 (83.3%)	91 (11.1%)	15 (1.8%)	31 (3.8%)	131 (16.0%)
2010年	690 (86.5%)	70 (8.8%)	15 (1.9%)	23 (2.9%)	130 (16.3%)
2011年	661 (82.4%)	99 (12.3%)	10 (1.2%)	32 (4.0%)	98 (12.2%)
2012年	662 (82.4%)	105 (13.1%)	7 (0.9%)	29 (3.6%)	106 (13.2%)
2013年	717 (91.3%)	39 (5.0%)	8 (1.0%)	21 (2.7%)	64 (8.2%)
2014年	713 (92.0%)	16 (2.1%)	19 (2.5%)	27 (3.5%)	35 (4.5%)
2015年	690 (89.3%)	9 (1.2%)	44 (5.7%)	30 (3.9%)	37 (4.8%)
2016年	671 (86.2%)	9 (1.2%)	68 (8.7%)	30 (3.9%)	30 (3.9%)
2017年	698 (89.9%)	14 (1.8%)	35 (4.5%)	29 (3.7%)	45 (5.8%)
2018年	736 (90.6%)	15 (1.8%)	39 (4.8%)	22 (2.7%)	34 (4.2%)

- (注) 1) 2009-2013年は暫定的麻疹風疹ワクチン第4期接種者(高校3年生対象)の入学年度  
 2) 2014-2018年は暫定的麻疹風疹ワクチン第3期接種者(中学1年生対象)の入学年度  
 3) 2回接種者には大学入学年の接種により2回接種となった例も含む  
 4) 入学年接種は大学入学年における3月以降の接種  
 5) 麻疹抗体陽性は、EIA(enzyme immunoassay)法(IgG)で4.0以上

### (まとめ)

- 2回接種/抗体陽性/1回接種(大学入学年)群及び1回接種(中1/高3)群は麻疹発病予防に有効な群と推測され、2009年から2014年まではおよそ94%から96%台で推移し、ほぼ集団感染防御閾値にあった。その後、麻疹風疹ワクチンの暫定的接種の終了に伴い、2015年は90.4%、2016年は87.4%と低下した。2017年は91.7%と前年に比べ軽度ながら増加となり、2018年も92.4%と回復傾向にあるが、集団感染防御閾値に比べると低値である。2006年より本邦における麻疹ワクチン接種は小学校入学前までの2回接種法に変更され、この年齢層が来年度より大学へ入学することより、今後の推移に注意が必要である。
- 抗体陽性/入学年接種群は入学時の麻疹ワクチン接種に関する問診票とワクチン接種推奨に呼応した群と見做され、暫定的麻疹風疹ワクチン接種の施行に伴い、2009年から2016年までに16%台から3%台までと徐々に減少していたが、2017年は5.8%と僅かながら増加し、2018年は4.2%であった。上記1)の状態を考慮すると、大学入学時の麻疹に関する問診票と必要例へのワクチン接種勧奨は今後も継続すべきと考えられる。

## 2. 職員保健管理実施状況

### (1) 職員健診の対象者及び検査項目

	対 象 者	検 査 項 目
一般定期健康診断	全 員	既往歴及び業務歴の調査 自他覚症状の有無の検査 身長体重計測(BMI・肥満度) 視力、聴力、血圧 尿検査(蛋白、糖、潜血、ウロビリ) 胸部X線撮影(CR撮影)
	35歳及び40歳以上	腹囲測定 貧血検査(RBC, Hb) 肝機能検査(GOT, GPT, $\gamma$ -GTP) 血中脂質検査(LDL-CH, HDL-CH, TG) 空腹時血糖、ヘモグロビンA1c クレアチニン、尿酸(UA) 心電図検査
	40歳以上	便潜血検査(2日法) ペプシノゲン I 型・II 型 胃部X線検診(バリウム検査)
特殊健康診断	電離放射線業務従事者	問診、血液検査(末梢血)、眼、皮膚
	有機溶剤取扱者	血液検査、尿検査等
	特別化学物質取扱者	血液検査、尿検査等
	粉じん作業従事者	問診・胸部X線撮影(直接)
給食従事者健康診断	給食従事者	血液検査、血圧、検尿、皮膚、身長、体重 腸内細菌、寄生虫卵(保健事業団委託)

\*平成22年度から、職員健診を秋田県総合保健事業団に委託

(2) 職員一般定期健康診断受診状況（手形・保戸野キャンパス）

検査項目	対象者数			受診者数			受診率	有所見者数			有所見率
	男	女	計	男	女	計	(%)	男	女	計	(%)
胸部X線 (全員)	400	237	637	346	211	557	87.4%	21	10	31	5.6%
血圧測定 (全員)	400	237	637	347	224	571	89.6%	131	23	154	27.0%
尿検査 (全員)	400	237	637	348	215	563	88.4%	22	20	42	7.5%
肝機能 (35才,40才以上)	283	155	438	229	139	368	84.0%	106	14	120	32.6%
脂質 (35才,40才以上)	283	155	438	229	139	368	84.0%	160	48	208	56.5%
空腹時血糖 (35才,40才以上)	283	155	438	229	139	368	84.0%	83	37	120	32.6%
貧血 (35才,40才以上)	283	155	438	229	139	368	84.0%	5	26	31	8.4%
胃部X線検診 (40才以上事前申込)	17	7	24	15	7	22	91.7%	1	0	1	4.5%
胃部検診ペプシノゲン (40才以上)	271	144	415	217	127	344	82.9%	18	7	25	7.3%
大腸検診 (40才以上)	271	144	415	211	114	325	78.3%	16	4	20	6.2%
心電図 (35才,40才以上)	283	155	438	229	139	368	84.0%	53	24	77	20.9%
人間ドック	(35才以上)			105	44	149					

\*対象者数は、退職者・育児休業及び人間ドック受診者を除く



### (3) 職員定期健康診断事後保健指導の実施状況

	対象者数	受診者数	受診率	結 果		未受診者数
				経過観察	医療機関紹介	
男	69	40	58.0%	35	5	29
女	21	12	57.1%	9	3	9
合計	90	52	57.8%	44	8	38

### (4) 特殊健康診断

#### 電離放射線健康診断

	第1回 (6月)					第2回 (12月)				
	対象者数	省略	受診者数	結 果		対象者数	省略	受診者数	結 果	
				異常なし	経過観察				異常なし	経過観察
職 員	47	42	5	5	0	45	45	0	0	0
学 生	32	16	16	16	0	30	26	4	4	0
合 計	79	58	21	21	0	75	71	4	4	0

\*省略は、被ばく歴の有無と症状の調査(問診票)により産業医が省略できるとしたもの

#### 有機溶剤・特定化学物質等健康診断

	第1回 (6月)				第2回 (12月)			
	対象者数	受診者数	結 果		対象者数	受診者数	結 果	
			経過観察	要精検			経過観察	要精検
職 員	38	33	2	1	38	36	8	4

\*要精検者は、産業医の診察および作業環境調査の上、経過観察

#### じん肺健康診断

	対象者数	受診者数	結 果
			異常なし
職 員	2	0	0

### 3. 保健管理センター利用状況

#### (1) 学部別・月別利用者数

学部等	性別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
国際資源学部	男	21	36	46	29	10	10	23	18	34	24	11	4	266
	女	14	38	15	13	8	1	6	5	4	4	9	1	118
	計	35	74	61	42	18	11	29	23	38	28	20	5	384
教育文化学部	男	22	48	26	16	10	7	26	34	18	16	10	7	240
	女	33	76	50	31	15	19	54	26	10	20	12	17	363
	計	55	124	76	47	25	26	80	60	28	36	22	24	603
医学部	男	55	12	8	9	5	2	4	7	1	4	2	53	162
	女	49	37	17	9	9	13	17	14	2	7	11	82	267
	計	104	49	25	18	14	15	21	21	3	11	13	135	429
理工学部	男	112	200	125	133	56	60	129	122	108	89	51	41	1,226
	女	41	47	45	46	15	32	47	49	26	29	17	6	400
	計	153	247	170	179	71	92	176	171	134	118	68	47	1,626
工学資源学部	男	1	2			1	2	3	3	3	1	1	2	19
	女													
	計	1	2	0	0	1	2	3	3	3	1	1	2	19
国際資源学 研究科	男	4	28	5	8	7	5	18	2	6	7	3	4	97
	女	1	2		1			1	3	1	5	2	3	19
	計	5	30	5	9	7	5	19	5	7	12	5	7	116
教育学 研究科	男	2	2	1		1		6	3		5	1	2	23
	女	2		2	1		4	2	2					13
	計	4	2	3	1	1	4	8	5		5	1	2	36
理工学 研究科	男	35	63	38	24	14	17	30	35	27	20	23	13	339
	女	5	2	5	9	10	8	3	17	6	5	5	2	77
	計	40	65	43	33	24	25	33	52	33	25	28	15	416
工学資源学 研究科	男	3	3	5	3	2	3	4	4	3	1	4	4	39
	女	2	1											3
	計	5	4	5	3	2	3	4	4	3	1	4	4	42
学生合計	男	255	394	254	222	106	106	243	228	200	167	106	130	2,411
	女	147	203	134	110	57	77	130	116	49	70	56	111	1,260
	合計	402	597	388	332	163	183	373	344	249	237	162	241	3,671
卒業生						1				1	1	2	1	6
職員		19	20	23	23	30	28	17	19	10	16	6	13	224
その他		1			2	1	1	1						6
総計		422	617	411	357	195	212	391	363	260	254	170	255	3,907

\*医学系研究科については利用者0名のため省略。

## (2) 疾病別利用者数

内科系	件数
感冒	198
頭痛	51
消化器症状(吐気、嘔吐、下痢)	48
腹痛	17
胸部痛	7
動悸、不整脈	7
過換気	3
意識消失、立ちくらみ	23
めまい	11
気胸(疑)	3
その他	60
合計	428

外科系	件数
創傷	89
打撲	25
捻挫	19
突き指	5
筋肉痛	7
腰痛	14
肩こり	5
関節痛	9
骨折	1
しびれ・神経障害	3
その他	2
合計	179

耳鼻科系	件数
咽頭炎	6
アレルギー性鼻炎	2
中耳炎	4
外耳炎	2
扁桃腺炎	1
耳孔塞栓	1
口内炎	2
歯痛	5
その他	9
合計	32

眼科系	件数
充血	2
眼内異物	3
視力低下	1
結膜炎	8
眼周囲できもの	1
飛蚊症	1
その他	10
合計	26

皮膚科系	件数
湿疹	6
じんましん	5
熱傷	8
虫刺傷	17
できもの	1
アトピー性皮膚炎	1
ヘルペス(疑)	1
その他	7
合計	46

婦人科系	件数
生理痛	22
生理不順	1
不正出血	1
合計	24

その他	件数
アルコールパッチテスト	113
身体計測機器利用	450
ホール利用	25
休養室利用	129

### (3) 健康相談件数

	学生	職員	その他	合計
精神科	608	50	1	659
内科	266	103		369
眼科	24	1		25
耳鼻科	11	1		12
カウンセリング	492		1	493
看護師	1,024	69	10	1,103
合計	2,425	224	12	2,661

### (4) 学生相談 相談者内訳

相談者	初回時	延べ数
本人	136	1,302
教員	11	43
事務	5	18
両親、家族	4	29
カンファレンス		56
医療機関		6
その他		2
合計	156	1,456

### (5) 学生相談 本人来談方法

相談方法	初回時	延べ数
来所	149	1,308
電話	6	76
メール(手紙)	1	5
その他		2
合計	156	1,391

## (6) 学生相談内容内訳

	進路・修学	就職	心理・性格	対人関係	心身の不調	研究・論文	問題行動	学生生活	学費・生活費	その他	合計
学部	401	15	31	62	379	5	6	125	2	60	1,086
大学院	109	25	7	7	76	4		14		6	248
合計	510	40	38	69	455	9	6	139	2	66	1,334

進路・修学：不登校や研究室に行けない、不本意入学等、学業に関する相談

心理・性格：自分は発達障害なのではないか、個性、性格、気質等の相談

心身の不調：やる気が起きない、不眠、食欲がないなど心身に影響のある状態の相談

学生生活：一人暮らし、アルバイト等学業問題以外の相談

## (7) 健康診断証明書 発行内訳

	就職	進学・受験	奨学金申請	資格取得	実習等	大会出場	アソルバイト他	発行数
国際資源学部	210	8		1	7	1	10	237
教育文化学部	224	1			342	60	12	639
医学部	301	21	31	148	10	2	22	535
理工学部	532	9	4	2	5	10	13	575
工学資源学部	11							11
国際資源学研究科	81						1	82
教育学研究科	1	1		5	4			11
医学系研究科								0
理工学研究科	441	1	1	2		1	6	452
工学資源学研究科	7							7
発行数	1,808	41	36	158	368	74	64	2,549

## (8) 心電図検査 実施状況及び結果

### ① 学生

	合計
異常なし	15
心室性期外収縮	2
気胸	1
房室解離・PQ短縮	1
完全右脚ブロック	1
不完全右脚ブロック	2
期外収縮	1
WPW症候群	3
左室高電位	1
右軸偏位	3
合計	30

\*健康診断後の内科診察と健康相談を含む

### ② 職員

	健診事後措置	健康相談	合計
異常なし	3	3	6
R波増高不良	1		1
反時計軸回転	1		1
不完全右脚ブロック	1		1
合計	6	3	9

## (9) 紹介状発行内訳

	学生	職員	合計
精神科	7	0	7
内科	11	9	20
合計	18	9	27

## IV 安全衛生活動報告

労働安全衛生法に基づき、センター医師 2 名は産業医(手形・保戸野キャンパス)、看護師1名は衛生管理者(手形キャンパス)として、職員の安全衛生管理業務を行っている。主な内容については以下の通り。

### 1. キャンパス内定期巡視及び安全衛生委員会への出席

定期的にキャンパス内巡視を実施し、毎月1回開催される安全衛生委員会へ出席した。

### 2. 職員定期健康診断事後措置(保健指導)

職員一般健康診断、特殊健康診断等の結果に基づく就業上の措置の判定を行い、産業医が必要と認めた職員に対して、面談による保健指導を行った。

保健指導の内容は、日常生活面での指導、健康管理に関する情報の提供、再検査もしくは精密検査、治療のための受診の勧奨など。

### 3. 長時間労働者面接

「時間外労働及び休日労働に関する労使協定」により、1ヶ月 45 時間を超えて時間外労働を命じられた職員について、問診、診察、心電図等の産業医による面接を実施した。

面接対象者は、1ヶ月 80 時間を超える者は全員、その他はチェックリスト提出により、希望者と産業医が必要と認めた者とした。

### 4. 高ストレス者面接

「労働安全法に基づくストレスチェック制度」により、高ストレス者として選定され、面接指導を受ける必要があると実施者が認めたものに対して、労働者からの申し出に応じて医師による面接指導を実施した。

### 5. 病休者の復帰前面談

「病休者と産業医の復帰前面談システム」により、病休者が職場復帰をする前に、産業医が面談を実施した。

## V 教育・研究活動報告

### 1. 学生講義

#### (1) 教養教育科目

##### 大学生と健康A ～上手に生きるための基礎知識～

前期	第1回	H30.4.12	木	飲酒と喫煙の害について	伏見 雅人 先生
	第2回	H30.4.19	木	青年期の心と人間関係	後藤 優子 先生
	第3回	H30.4.26	木	高血圧とその関連疾患	小林 政雄 先生
	第4回	H30.5.10	木	睡眠とからだのリズム	伏見 雅人 先生
	第5回	H30.5.17	木	エイズと性感染症	小林 政雄 先生
	第6回	H30.5.24	木	脳と心の発達	伏見 雅人 先生
	第7回	H30.5.31	木	女性のやせ願望と食行動異常	筒井 幸 先生
	第8回	H30.6.7	木	海外渡航と感染症	小林 政雄 先生
	第9回	H30.6.14	木	身近な認知症	高橋 裕哉 先生
	第10回	H30.6.21	木	生活環境とアレルギー	小林 政雄 先生
	第11回	H30.6.28	木	トラウマとPTSD	伏見 雅人 先生
	第12回	H30.7.5	木	がんの予防	小林 政雄 先生
	第13回	H30.7.12	木	神経症と抑うつ	伏見 雅人 先生
	第14回	H30.7.19	木	救急・救命	円山 啓司 先生
	第15回	H30.7.26	木	ストレスとうつ病	伏見 雅人 先生
	第16回	H30.8.2	木	テスト	伏見 雅人 先生

##### 大学生と健康B ～上手に生きるための基礎知識～

後期	第1回	H30.10.4	木	女性のやせ願望と食行動異常	筒井 幸 先生
	第2回	H30.10.11	木	飲酒の害について	伏見 雅人 先生
	第3回	H30.10.18	木	高血圧とその関連疾患	小林 政雄 先生
	第4回	H30.10.25	木	睡眠とからだのリズム	伏見 雅人 先生
	第5回	H30.11.1	木	エイズと性感染症	小林 政雄 先生
	第6回	H30.11.8	木	脳と心の発達	伏見 雅人 先生
	第7回	H30.11.15	木	海外渡航と感染症	小林 政雄 先生
	第8回	H30.11.22	木	喫煙の害について	伏見 雅人 先生
	第9回	H30.11.29	木	トラウマとPTSD	伏見 雅人 先生
	第10回	H30.12.6	木	救急・救命	円山 啓司 先生
	第11回	H30.12.13	木	神経症と抑うつ	伏見 雅人 先生
	第12回	H30.12.20	木	生活環境とアレルギー	小林 政雄 先生
	第13回	H31.1.10	木	身近な認知症	高橋 裕哉 先生
	第14回	H31.1.24	木	がんの予防	小林 政雄 先生
	第15回	H31.1.31	木	ストレスとうつ病	伏見 雅人 先生
	第16回	H31.2.7	木	テスト	伏見 雅人 先生



## (2) 医学部講義

H30. 4. 17	火	循環動態検査法心臓カテーテル	小林 政雄 先生
H30. 5. 7	月	医学生と研修医の精神衛生	伏見 雅人 先生
H30. 9. 18	火	公衆衛生・精神保健衛生	伏見 雅人 先生

## 2. 禁煙支援システム〔禁煙外来〕

【対象】 禁煙を希望する学生及び教職員喫煙者

【方法】 ニコチン依存度(Fagerstrom Test)に基づくニコチン貼付薬漸減療法

【受診状況】 平成 30 年度受診者 8 名(学生 8 名)

## 3. 自己監視型肥満対策

【対象】 新入生の定期健康診断で BMI が 30 以上の肥満学生

【方法】 デジタル体重計と歩数計を貸与し、グラフ化体重日記と歩数記録をもとに、食行動や日常身体活動などに関して助言する、自己監視型肥満対策を実施

【受診状況】 平成 30 年度参加者 新入生 1 名及び前年度からの継続者

#### 4. 講演会等実施状況

日付	講演テーマ	講師名	会場・派遣先
H30.4.3	平成30年度国立大学法人秋田大学新採用職員研修 「ストレス・コーピング(セルフケア)について」	伏見雅人	秋田大学本部管理棟 第一会議室
H30.4.5	平成30年度新入生オリエンテーション 「健康管理について」	伏見雅人	秋田県民会館 (入学式終了後)
H30.4.11	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 「特定化学物質等による健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
H30.5.19	県労連講演医療ではたらくなかまのつどい 「メンタルヘルスについて」	伏見雅人	サンサン横手 秋田県労働組合総連合
H30.6.13	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習 「酸素欠乏症、硫化水素中毒及び救急蘇生に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
H30.6.29	いのちを守り、いのちを支えるキャンペーンSOSの出し方・受け方講座 「大人向けSOSの受け方講座」	伏見雅人	象潟中学校 秋田魁新報社
H30.7.11	石綿作業主任者技能講習 「健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
H30.7.27	平成30年度北海道・東北六県婦人保護研究協議会 「発達障害や精神障害を抱えた女性への相談対応」	伏見雅人	アキタパークホテル 女性相談所
H30.7.27	平成30年度理工学研究科技術部研修 労働安全衛生講演会 「作業関連疾患とその予防－循環器疾患を中心に－」	小林政雄	秋田大学 アクティブラーニング棟
H30.7.27	平成30年度理工学研究科技術部研修 労働安全衛生講演会 「保健管理センター・人事課の巡視活動紹介」	安保智秋	秋田大学 アクティブラーニング棟
H30.8.28	秋田産業保健総合支援センター産業看護職・健康管理担当者研修 「職場のメンタルヘルス ～アルコールにのまれないために～」	伏見雅人	仙北ふれあい文化センター 秋田産業保健総合支援センター

日付	講演テーマ	講師名	会場・派遣先
H30.9.18	秋田産業保健総合支援センター産業保健セミナー 「職場のメンタルヘルス～知っておきたい認知症の基礎知識」	伏見雅人	能代工業団地交流会館 秋田産業保健総合支援センター
H30.9.19	有機溶剤作業主任者技能講習 「有機溶剤による健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
H30.12.5	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習 「特定化学物質等による健康障害及びその予防措置に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
H30.12.8	第11回宮城産業メンタルヘルス研究会 「職場のメンタルヘルスを考えるー秋田県の状況を踏まえてー」	伏見雅人	SS30ビル20階会議室 宮城産業メンタルヘルス研究会
H31.2.6	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習 「酸素欠乏症、硫化水素中毒及び救急蘇生に関する知識」	伏見雅人	協働大町ビル 秋田県労働基準協会
H31.3.5	秋田産業保健総合支援センター産業医研修会 「職場のメンタルヘルス ～うつ病について～」	伏見雅人	秋田県総合保健センター 秋田産業保健総合支援センター
H31.3.15	第21回 フィジカルヘルスフォーラム / シンポジウム:ー学生の更なる健康支援に向けてー 「学生の心の健康管理と支援に関する取り組みについて」	伏見雅人	山形市保健センター フィジカルヘルス研究会

## 5. 研究報告

### 「本学学生における健康生活実態調査の結果について」

秋田大学保健管理センター

○伏見 雅人、藤原 友紀子、安保 智秋、赤上 由加、小林 政雄

本学学生における健康および生活に関する実態調査を行ない、主として学年別の比較・検討を行った。調査の項目は睡眠や食事摂取、飲酒、喫煙の状況、悩みの有無などとした。得られた回答は医学科以外の学生（学部生1年次～4年次と院生）と医学科の学生（学部生1年次～6年次）とに分けて結果を示した（医学科の院生については、対象となる人数が少なかったため今回の解析対象から除外した）。

医学科以外の学生については学部生1年次 867名、2年次 816名、3年次 823名、4年次 803名、院生 385名の回答を解析の対象とし、医学科の学生については学部生1年次 122名、2年次 63名、3年次 70名、4年次 50名、5年次 118名、6年次 125名の回答を解析の対象とした。

結果の概要については以下の通りである。睡眠の状況に関しては、概ね学年が上がるにつれ、入眠に時間がかかる学生の割合が高くなり、睡眠時間も減少する傾向にあった。なお、入眠に時間がかかることが「よくある」と回答した学生の割合は、医学科以外の学生では、年次が上がるにつれて高くなっていったのに対し、医学科の学生では、3年次までは年次が上がるにつれて高くなっていったが、4年次以上では逆に年次が上がるにつれて低くなっていった。朝起きるのがつらいことが「よくある」と回答した学生の割合は、医学科以外の学生では、年次が上がるにつれて高くなっていったのに対し、医学科の学生では、4年次が最も高く、5年次・6年次では逆に低くなっていった。昼夜逆転となることが「ある」と回答した学生の割合は20%前後であった。食事摂取の状況に関しては、回答した学生の60%以上が朝食を摂っていると回答しており、特に1年次では約90%となっていたが、年次が上がるにつれて、その割合は低下していた。また、食事のバランスについて「考えている」と回答した学生の割合は概ね60%前後であったが、こちらも年次が上がるにつれて割合が低下する傾向にあった。喫煙の状況については、医学科以外の学生では学年が上がるにつれて喫煙率が上昇し、4年次で10%程度、院生で15%程度となっていた。医学科の学生については、喫煙者が殆どいなかった。喫煙開始の時期については、「大学に入ってから吸い始めた」が90%を超えていた。飲酒の状況については、約70%が「ほとんど飲まない」と答えており、定期的に飲酒する場合においても「週2～3回」が最も多く、20%程度となっていた。「人に言えないような悩みがある」、「誰かに話を聞いてもらいたい」と回答した学生の割合は共に10%～20%程度であった。医学科以外の学生においては、これらの回答の割合は概ね学年が上がるにつれて高くなる傾向にあったのに対し、医学科の学生においては、4年次で最も割合が高くなっていった。

総じて、学年が上がるにつれて、睡眠時間が減少し、食事摂取が不規則になり、喫煙や飲酒の割合が高くなる傾向がみられており、在学中の健康教育や健康指導により力を入れる必要性が感じられた。なお、本調査は横断的な調査であり、学年による変化を検討するうえでは今後、縦断的な調査も行う必要があると考えている。

